

ラケットワゴンを使用する前に — 乗り方ガイド —

本書では、ラケットワゴンを購入してから乗れるようになるまでの流れを要点と注意点で説明します。本書のほかに「取扱説明書」を必ずお読みになり、他の説明書類と共に大切に保管してください。

1

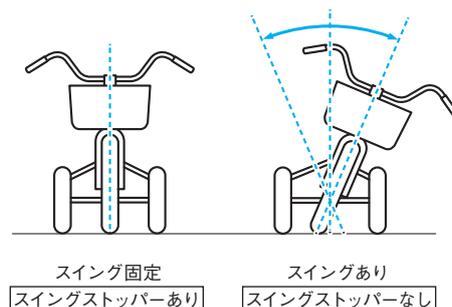
ラケットワゴンの特徴

ラケットワゴンは普通の自転車（2輪車）とは異なる乗り心地の自転車です

- 初めて乗るとき、慣れるまで必ず乗る練習をしてください。
- 安全のため、できるだけ一人では乗らず、付き添いしてもらってください。

ラケットワゴンにはスイングストッパーがあります

- スイングストッパーは、車体を左右にスイングできないように固定することで、自立感を高め、走行時のバランス感覚を変えることができます。これまで2輪車に乗ったことがない方のための機能部品です。
- スイングストッパーの取り付け、取り外しは販売店にご相談ください。



ラケットワゴンは電動アシスト自転車です

- 電動アシスト自転車は、ペダルを軽く踏んでも発進できます。
- 普通自転車の感覚以上に加速しますので、初めて乗るときは、慣れるまでは必ず乗る練習をしてください。

2

初めて自転車に乗る前に

坂道・斜面・凹凸のある路面では練習しない

- 路面の影響を受けて、車体が傾き転倒し、けがをするおそれがあります。
- 直進ならびに旋回時、意図しない方向へ進む場合がありますので、慣れるまで平坦路で練習してください。

ひとりで練習しない

安全のため、できるだけ一人では練習せず、付き添って補助をしていただく方と二人で練習することをお勧めします。

(練習のポイントは裏面へ)

3

練習のポイント

- はじめは、平坦な路面で直進と、方向を変える練習から始めます。
- 曲がったり止まったりして、自分の思った通り乗れるように練習します。
- 慣れてきたら、坂道・舗装路・未舗装路などいろいろな条件で練習します。

お勧めの乗り方は以下の通りです。

ご自身の状況・感覚に合わせた自転車の調整（スイングストッパーの取り付け、取り外しは、販売店にご相談ください）。

A. これまで普通の自転車（2輪車）に乗ったことがない方

【スイングストッパーを取り付けて】車体が傾かない状態で乗ってみてください

- 乗車時の速度は時速5km以下（成人男性の歩く速度以下）で乗ります。速すぎると転倒する危険があります。
- ハンドルを握る手には必要以上に力を入れないようにします。
- 手元ではなく、進行方向の先を見るように乗車すると意図した方向に進みやすくなります。
- 車体を傾けず、ハンドルを左右に切ってバランスを修正しながら、直進したり旋回します。特に旋回時は車体が想定以上に傾きません。注意してください。
- 旋回時は体重をかけず、ハンドルだけを曲がる方向に切って曲がります。
- 傾斜のある路面では、車体も傾斜に沿って傾き、傾いた方向に進むため、傾斜とは逆方向へ体を意識し、ハンドルを切ってバランスを修正しながら乗ります。
- 練習してうまく乗れるようになったら、スイングストッパーを外して練習してみることをお勧めします。

B. 普通の自転車（2輪車）に乗り慣れていて、同じ感覚で乗りたい方

【スイングストッパーを取り付けない】車体を傾けることができる状態で乗ってみてください

- 乗車時の速度は時速8km程度（成人男性のジョギング程度）で乗ります。遅すぎるとバランスがとりにくく、ふらつきやすくなります。
- 手元ではなく、進行方向の先を見るように乗車すると意図した方向に進みやすくなります。
- 普通の自転車（2輪車）と同じような感覚で左右のバランスをとって乗ります。
- ハンドルがふらついてスムーズに乗れない場合は、付き添いの人にハンドルを支えてもらい、安定させてからペダルをこいでみます。
- 練習してもうまく乗れない場合は、スイングストッパーを固定してみることをお勧めします。